



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

東

上場会社名 神鋼商事株式会社

上場取引所

コード番号 8075

URL <https://www.shinsho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高下 拡張

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 石川 武祥

(TEL) 03-5579-5201

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	176,886	19.8	4,094	84.1	3,771	28.3	2,510	26.7
2026年3月期第1四半期	147,677	△3.1	2,224	△39.7	2,938	△17.9	1,982	△32.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 4,664百万円(260.5%) 2026年3月期第1四半期 1,294百万円(△60.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	95.01	—
2026年3月期第1四半期	75.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	406,444	104,364	25.2
2026年3月期	383,623	100,982	25.8

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 102,278百万円 2026年3月期 98,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	53.00	—	53.00	106.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		69.00	—	69.00	138.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2027年3月期(予想)の中間配当金及び期末配当金の内訳普通配当56円00銭、記念配当13円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	350,000	19.6	6,700	27.0	6,300	8.9	4,600	12.9	174.06
通期	706,000	16.1	13,500	16.6	12,500	13.4	9,500	14.6	359.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 P. 8 「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	26,581,686株	2026年3月期	26,581,686株
2027年3月期1Q	154,415株	2026年3月期	159,328株
2027年3月期1Q	26,422,627株	2026年3月期1Q	26,416,718株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式 (2027年3月期1Q 130,942株、2026年3月期末 135,855株) が含まれております。また、「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式の計算において控除する自己株式に含めております (2027年3月期1Q 135,585株、2026年3月期1Q 141,516株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)における世界経済は、各国における金融政策の動向や地政学的リスクに加え、通商政策を巡る不確実性が継続する中、地域ごとに景況感の差が見られるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。また、インフレ圧力の継続やエネルギー価格・物流コストの高止まりなども、経済活動に影響を及ぼしております。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、物価上昇や人手不足の影響に加え、海外経済の動向や通商政策を巡る不透明感が継続しております。

こうした中、当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は1,768億86百万円(前年同四半期比19.8%増)、営業利益は40億94百万円(同84.1%増)、経常利益は37億71百万円(同28.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億10百万円(同26.7%増)となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

①金属セグメント

i) 鉄鋼ユニット

主力である特殊鋼・鋼板製品については、建築向け分野の需要は低調に推移したものの、自動車生産台数は前年並みの水準で推移し、売上高は前年同期並みとなりました。関係会社の収益改善があったものの、前期に受領した特別配当金の剥落に伴う営業外収益の減少により、利益は前年同期を下回りました。

これらにより、鉄鋼ユニットの売上高は638億23百万円(前年同四半期比0.2%増)となりましたが、利益は12億47百万円(同22.0%減)となりました。

ii) アルミ・銅ユニット

アルミ製品では自動車向け及び半導体製造装置向けが増加し、銅製品においても空調銅管向け及び端子コネクタ向け銅板条が増加いたしました。また、非鉄原料分野ではアルミ屑及びアルミ再生塊が増加しました。これらに加え、地金価格影響もあり、全体として増益となりました。

これらにより、アルミ・銅ユニットの売上高は628億13百万円(前年同四半期比43.0%増)となり、利益は12億27百万円(同82.2%増)となりました。

iii) 原料ユニット

(株)神戸製鋼所向け主原料は、鉄鋼需要が堅調に推移したことにより粗鋼生産が増加し、主原料価格も上昇しました。資源循環分野では、国内需要の低迷に加えて海外における鉄スクラップ需要が軟調に推移したことを背景に輸出が減少、一方で、バイオマス燃料は取引先の操業が一部回復しました。また海外投資先の操業不調も継続しましたが、全体では主原料分野の収益拡大が寄与し増益となりました。

これらにより、原料ユニットの売上高は264億1百万円(前年同四半期比36.0%増)となり、利益は1億93百万円(同68.9%増)となりました。

②機械・溶接セグメント

i) 機械ユニット

国内本体では電池材料等が減少しましたが、非汎用圧縮機サービス、冷熱・ヒートポンプ、中国向け圧延機用部品等の納入が増加し、利益は堅調に推移しました。国内子会社では電気溶解炉や粉体装置が減少しました。海外では韓国で半導体ガス向け機器及び米国でのLNG向け機器・鋳物ケーシング等の納入が増加しました。

これらにより、機械ユニットの売上高は153億95百万円(前年同四半期比9.4%増)となり、利益は6億65百万円(同22.6%増)となりました。

ii) 溶接ユニット

溶接材料は増加し、国内、海外ともに販売単価も上昇しました。溶接関連機材は国内で堅調に推移しました。生産材料は中東紛争の影響による樹脂製品の需給逼迫を背景に、販売価格が上昇したことから、売上が増加しました。また、連結子会社において、銀、銅相場の高騰により評価益が増加しました。

これらにより、溶接ユニットの売上高は84億33百万円(前年同四半期比29.9%増)となり、利益は4億80百万円(同468.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,064億44百万円となり、前連結会計年度末比228億20百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金と電子記録債権の増加によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,020億80百万円となり、前連結会計年度末比194億38百万円増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金と短期借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,043億64百万円となり、前連結会計年度末比33億82百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加と親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の第2四半期及び通期の連結業績予想並びに配当予想につきましては、本日公表の「2027年3月期第2四半期(中間期)及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,428	16,588
受取手形及び売掛金	183,699	198,171
電子記録債権	23,061	30,575
商品及び製品	78,765	75,911
仕掛品	120	199
原材料及び貯蔵品	1,885	2,235
前払金	16,144	15,706
その他	9,727	11,159
貸倒引当金	△606	△658
流動資産合計	330,225	349,890
固定資産		
有形固定資産	8,678	8,797
無形固定資産	2,480	2,693
投資その他の資産		
投資有価証券	34,959	37,733
出資金	1,947	1,974
長期貸付金	1,667	1,908
退職給付に係る資産	10	9
繰延税金資産	1,683	1,468
その他	5,363	5,423
貸倒引当金	△3,392	△3,453
投資その他の資産合計	42,240	45,063
固定資産合計	53,398	56,554
資産合計	383,623	406,444
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	161,344	172,284
電子記録債務	10,890	11,426
短期借入金	34,901	41,637
未払法人税等	2,667	800
契約負債	12,433	11,924
賞与引当金	1,637	871
預り金	12,398	15,268
その他	21,092	23,571
流動負債合計	257,367	277,784
固定負債		
長期借入金	18,495	16,461
預り保証金	650	637
繰延税金負債	4,478	5,596
役員株式給付引当金	124	128
退職給付に係る負債	942	946
その他	583	527
固定負債合計	25,274	24,296
負債合計	282,641	302,080

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,615	2,610
利益剰余金	74,300	75,450
自己株式	△212	△205
株主資本合計	82,353	83,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,355	10,051
繰延ヘッジ損益	175	164
為替換算調整勘定	8,093	8,557
その他の包括利益累計額合計	16,624	18,772
非支配株主持分	2,004	2,086
純資産合計	100,982	104,364
負債純資産合計	383,623	406,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	147,677	176,886
売上原価	138,692	165,796
売上総利益	8,985	11,089
販売費及び一般管理費	6,760	6,995
営業利益	2,224	4,094
営業外収益		
受取利息	61	57
受取配当金	1,178	363
持分法による投資利益	37	174
為替差益	55	-
雑収入	115	125
営業外収益合計	1,448	720
営業外費用		
支払利息	413	427
売掛債権譲渡損	169	305
為替差損	-	202
デリバティブ評価損	123	4
雑損失	28	104
営業外費用合計	734	1,043
経常利益	2,938	3,771
税金等調整前四半期純利益	2,938	3,771
法人税、住民税及び事業税	717	746
法人税等調整額	223	486
法人税等合計	941	1,232
四半期純利益	1,997	2,538
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,982	2,510

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,997	2,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,109	1,698
繰延ヘッジ損益	△14	△10
為替換算調整勘定	△1,440	275
持分法適用会社に対する持分相当額	△358	163
その他の包括利益合計	△703	2,126
四半期包括利益	1,294	4,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,379	4,659
非支配株主に係る四半期包括利益	△85	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。一部の関係会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属				機械・溶接			計			
	鉄鋼	アルミ・ 銅	原料	小計	機械	溶接	小計				
売上高											
外部顧客への売上高	63,726	43,937	19,413	127,077	14,070	6,490	20,561	147,638	39	－	147,677
セグメント間の 内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－	90	△90	－
計	63,726	43,937	19,413	127,077	14,070	6,490	20,561	147,638	129	△90	147,677
セグメント利益 又は損失(△)	1,598	673	114	2,386	542	84	627	3,013	△75	－	2,938

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属				機械・溶接			計			
	鉄鋼	アルミ・ 銅	原料	小計	機械	溶接	小計				
売上高											
外部顧客への売上高	63, 823	62, 813	26, 401	153, 038	15, 395	8, 433	23, 829	176, 867	18	－	176, 886
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	－	－	0	－	0	0	0	94	△94	－
計	63, 823	62, 813	26, 401	153, 038	15, 395	8, 433	23, 829	176, 868	112	△94	176, 886
セグメント利益 又は損失(△)	1, 247	1, 227	193	2, 667	665	480	1, 146	3, 814	△42	－	3, 771

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	363百万円	422百万円
のれんの償却額	22百万円	22百万円